

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2003年5月13日

2003年5月11日現在：

5月11日に終わる1週間の州平均農作業日数は、1.2日（平年：5.0日）であった。州全域に亘り平年以上の降水があった。気温は平年以下で推移し、最高気温は北中央地区（NC）で49～62度F、北東地区（NE）では59～72度、中央地区（C）では50～67度Fであった。土壌水分は更に改善され、Topsoil並びにSubsoilの水分は、共に昨年並びに過去5年平均より良好な状態を保った。

冬小麦の作柄状況は、Very poor:1%、Poor:5%、Fair:19%、Good:56%、Excellent:19%の評価であり、例年に比し良好である。但し、北中央地区（NC）の一部でStreak mosaic（すじモザイク病）が報告された。春小麦の播種は降雨で中断する事もあったが、進捗は昨年より早く61%の圃場で完了した（昨年同期：45%、平年：72%）。気温が低目の為、出芽は平年より遅れている。

土壌水分状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Topsoil (%)				
Very short	0	2	15	19
Short	5	14	29	37
Adequate	71	72	53	42
Surplus	24	12	3	2
Subsoil (%)				
Very short	11	18	47	29
Short	24	28	31	37
Adequate	62	52	22	33
Surplus	3	2	0	1

冬小麦作柄状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Avg.
Very poor (%)	1	1	34	12
Poor (%)	5	8	29	20
Fair (%)	19	22	28	39
Good (%)	56	53	8	26
Excellent (%)	19	16	1	3

春小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year Ave.
Planted (%)	61	57	45	72
Emerged (%)	23	12	4	32

Source: Montana Agricultural Statistics Service

モンタナ州小麦作付面積：USDA2003年3月1日発表

冬小麦の作付け増加と破棄圃場の減少見込みより、春小麦（HRS）の播種面積は減少すると見込まれた。

	Area Planted 1000 acres			
	2001 Crop	2002 Crop	2003 Crop	2003/2002
Winter wheat	1,300	1,450	1,850	128%
Durum wheat	510	590	600*	102%
HRS wheat	3,550	3,750	3,100*	83%

*2003年3月31日予想

当該作柄レポートに関するご質問、お問い合わせは下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com